

ワイヤロープテスタ

ワイヤロープテスタとは電磁探傷法の一つである漏洩磁束法を用いて、使用中のワイヤロープの断線等を検出する装置です。機器は、磁化器、検出器、ロープガイド制御器及び記録計（オプション）で構成されています。

ワイヤロープテスタには、クレーン用、エレベータ用及び従来タイプの3種類があります。



クレーン用 (MF-550)



EVR用 (マルチタイプ)

1 クレーン用ワイヤロープテスタ「MF-550®」の仕様

表11-1 磁化検出器

測定対象ロープ	磁性体ワイヤロープ
適用ロープ径	φ10mm～50mm*
動作温度範囲	-10℃～50℃
寸法 (mm)	218 (D) × 176 (H) × 170 (W)
重量	約6.0kg
磁化方式	希土類永久磁石による直流磁化

※ロープ径に応じた検出器ユニット、樹脂ガイドユニットが必要となります。

表11-2 制御器

型式番号	TWT-2000V-CF クレーン用
メモリー	本体内蔵フラッシュメモリー（不揮発性 4MB） +コンパクトフラッシュ：リーダ機能なし（最大1Gで使用可能）
出力端子	アナログ：BNC デジタル：USB1.1 準拠コネクタ（TYPE B） パルス：リレー出力（1C接点）
電源	AC：AC100Vアダプター（6V 2A） 電池：単三4本（アルカリ、ニッケルマンガン、充電電池）
外形寸法 (mm)	130 (D) × 130 (H) × 160 (W)
重量	約2.2kg

（注）ステンレスロープやアルミより線などの非磁性品には適用できませんので、ご注意ください。
備考 10mm未満、50mmを超えるロープ用に対しても、ご相談に応じます。

2 ロープ寿命管理ネットワークシステム

ワイヤロープの管理を大幅に省力化し、最適な交換時期を明示いたします。



REXS



CO-REXS

1 REXS®

REXSは単体で設置し、ロープの管理を行うことができます。さらに、無線LANによるネットワーク構築することにより、工場全体のクレーンロープ稼働モニタ、管理が実現可能です。各クレーンのロープ稼働状況を集約し、監視用ソフトウェアをインストールしたパソコンで確認することができます。

2 CO-REXS®

CO-REXSはネットワークを前提としたシステムであり、単体でも複数台でもCO-REXSの情報取得や設定は、ZBシステムネットワークを介したPCにより遠隔で行います。アクセスポイントを介して網の目のようなメッシュ型ネットワークが構築できますので、低消費電力で広範囲な通信が可能です。

